

## 地球環境と 人の暮らしをつなぐ 知の探究

令和8年  
2月2日(月)  
埼玉会館 小ホール  
13:00～16:15  
参加費無料



### 特別講演

### 原田 尚美 教授

東京大学 大気海洋研究所  
国際・地域連携研究センター

専門は生物地球化学。  
海洋環境の変遷や、南極の海洋生態系を  
研究し、最近では物質循環に関する研究に  
従事している。大学博士後期課程時に  
南極地域観測隊に初めて参加して以来、  
計3回南極での活動をしており、  
令和7年4月に帰還した第66次南極地域  
観測隊では女性初の隊長を務めた。



### プログラム ※オンライン同時開催(第1部のみ)

【第1部(小ホール)】 13:00～15:15

13:10 特別講演

### 「南極の魅力」

～海水が溶かす南極大陸氷床と日本への影響～

南極地域観測の意義、今、重点を置いている

海洋分野の研究内容について、

また、南極の自然の魅力についても紹介します。

### 研究発表 センター研究員による成果発表



#### ① 落合 祐介

化学物質・環境放射能担当



#### ② 大和 広明

温暖化対策担当

14:10 研究発表

#### ① 化学物質の環境動態

～ダイオキシンはどこからやってくる?～

#### ② 暑さ指数の活用

～熱中症を予防するために～

【第2部(ホワイエ)】 15:15～16:15

15:15 研究成果のポスター展示・発表



お申込みは

埼玉県環境科学国際センターウェブサイトから ▶

CESSセンター講演会

検索



## 定員

会場	埼玉会館 小ホール	定員300名(申込順)
オンライン	Teams	定員300名(申込順)

## 会場案内

### 埼玉会館 小ホール

最寄駅：JR浦和駅(西口)下車 徒歩6分

所在地：さいたま市浦和区高砂3-1-4

受付：12時00分 開始

開場：12時30分



## 研究成果のポスター展示・発表（プログラム）

- ① 埼玉県における気候変動適応策の社会実装
- ② 水害リスクを最小化する！都市防災における気象予測技術の開発
- ③ 地球温暖化により日本の気圧配置と極端気象の発生確率がどう変わるかを知る
- ④ 夏の大気を詳しく調査！
- ⑤ 排出が増加する地球温暖化物質HFCsを見逃さない
- ⑥ 汚染から収益へ  
～植物修復技術が拓く土壌資源の保全と持続的利用への挑戦～
- ⑦ 植物保護のための光化学オキシダント環境基準の提案
- ⑧ 田植えのタイミングが生き物を変える！
- ⑨ 使用済みリチウム蓄電池の放電処理
- ⑩ ごみ埋立地の後始末
- ⑪ SDGsから考えるプラスチック資源循環
- ⑫ ダイオキシン類一斉測定を試み
- ⑬ 難分解性化学物質：シリコン化合物の環境評価
- ⑭ 137Csを指標とした燃焼由来のダイオキシン類における再浮遊量の評価
- ⑮ 河川中の金属の形態別分析法の開発
- ⑯ 水を調べると魚がわかる？
- ⑰ 細菌の力で温暖化対策！
- ⑱ 水の中の微生物は何をしているのか？
- ⑲ 微生物に着目した画期的な土壌汚染対策！！
- ⑳ 地中熱利用の実証試験と農業への適用
- ㉑ 身近にあった井戸のお陰で助かった
- ㉒ 空気中をたどよう磁性を持つ粒子

## オンライン配信の視聴方法

○「申込フォーム」からお申し込み後、Teams参加用URLを御登録のメールにお知らせします。

○当日は、お手持ちのPC・タブレット・スマホなどから御参加下さい。

## SNSでも環境科学国際センターを楽しめます！

ぜひ、この機会に、御覧ください。チャンネル登録やフォローをお待ちしております！



埼玉県マスコット  
さいたまっち & コバトン



公式 YouTube  
@cess8082



公式 Facebook



公式 Instagram  
@cess.saitamaken

ニュースレターは  
年4回発行です！

